

被表彰団体の主な活動内容等

	団体名	主な活動内容
学校	雲南市立掛合小学校 ○学級数 8学級 ○生徒数 86人	○全校体制で児童の情報活用能力及び思考力、判断力、表現力等の育成を目指し、学校図書館活用教育年間指導計画を作成・活用して、学校図書館活用を軸とした授業改善に取り組んでいる。令和3年度には、島根県学校図書館活用教育研究事業研究校として「自ら考え、ともに学び合う子どもの育成～情報を活用して、自分の思いや考えを持ち、それを伝え合う授業をめざして～」を研究主題に設定し、公開授業を通して近隣の学校への啓発にも貢献している。 ○児童の読書習慣の形成を目指し、学校内外でさまざまな連携を進めている。授業者・司書教諭・学校司書の協働による選書、児童によるおすすめ本の展示、年3回の読書週間を中心とした家庭読書「家読（うちどく）」、図書委員による教室での読み聞かせや地域住民・高校生などの地域人材による「ほほえみタイム」（本の読み語り）などの幅広い取組を充実させることにより、学校図書館や教室で児童が読書に親しむ姿が日常のものとなっている。
図書館	隠岐の島町立 隠岐の島町図書館 （隠岐の島町） ○開設 平成16年10月 ○職員数 5人	○4 か月児に絵本を配布するブックスタートで絵本と触れ合った親子が図書館に足を運びやすいように、毎週日曜日の午後をファミリータイムとして赤ちゃん向け読み聞かせの会を開催し、さらに独自のブックスタートプラスでは3歳児に絵本プレゼント、また保育所への絵本貸出など、ボランティアや関係機関と協力して0歳からの切れ目のない支援を行っている。 ○読書離れが叫ばれている中高生向けに図書館通信「プレジャー」を発行し、学校を通じて町内全生徒に配布している。職場体験の生徒にオススメ本の記事を書いてもらうことで、中高生自身が記事作りに参加しており、図書館や読書に興味を持つよう工夫している。 ○ツイッターでの情報発信にも取り組み、子ども向けイベントやサービス、オススメ絵本などの情報提供に努めている。 ○図書館職員が年1回、町内の希望する小中学校図書館を訪問し、意見交換や相談を行っている。
団体	おはなしレストラン （島根県立大学 松江キャンパス） ○発足 平成23年4月 ○会員数 138人	○平成23年の設立以来、学内児童図書館の絵本を資源として、学生が松江市内の幼保園や小学校をはじめ県内各地の保育所・図書館等に出かけ、計1,000冊を超える絵本の読み聞かせを実践し、多くの子どもたちに絵本を楽しむ時間を提供してきた。（「出前おはなしシェフ」） ○また、設立以来、学内児童図書館において、親子を対象とした毎週1回の読み聞かせ（「おはなしのじかん」）を継続的に開催している。 ○七夕やクリスマス、秋の大学祭などに合わせて子ども向けのイベントを開催し、絵本や童話の作り手を招待して、児童文学を楽しむ理解を深める機会を提供してきた。 ○平成26年度より、島根県・島根県立図書館と協力しながら、男性の読み聞かせ・育児への参加啓発を進めるため、読み聞かせの記録手帖「読みメン手帳」を作成・配布し、県外への波及効果も見られた。令和4年度からは、「読みメン手帳」を改訂して、対象を家族全体に広げた「絵本ダイアリー」を作成・配布している。

（学級数及び児童生徒数は令和4年5月1日現在）